

# 懸命に生きる…希望の光に向かって！

一歩ずつの努力から見えてくる、未来の幸せ

※書籍右横の番号はセンターでの検索番号です。



れもん、うむもん！  
—そして、ママになる—

2016年 新潮社  
はるな檸檬(著)

[300-10]

「出産は、しんどかったです」。2年前に出産した著者は正直にそう語る。つらい時にありきたりの出産や育児の本を読んでも、「出産は一人ひとり違う」ということがわからず、その通りでない自分にいよいよ落ち込んで苦しさは増すばかり。そんな時は先輩妊婦さんに悩みを聞いてもらったり、体験談を聞くことがいちばんの励みになったという。子育て休暇を終えた著者が、妊娠・出産・子育ての、自身の体験や感じたことを漫画にした本書。しんどいさなかにもさっと読めて、励まされること請け合い。(ルナ)



図解まるわかり  
整理術の基本

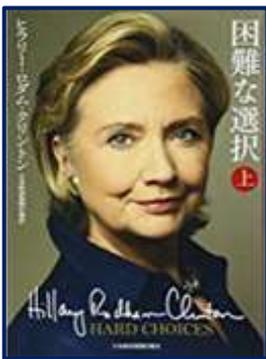
2011年 新星出版社  
新星出版社編集部(編)

[800-0]

整理は毎日仕事をしていく中で、ちょっとした心がけで習慣づけられるもの。しかし、面倒だ～忙しい～何から手をつけたらよいかわからない～と億劫になり、探し物が多くなっていませんか？整理の基本は、①戻す②分ける③捨てる。整理することで、物事がスムーズに運び、気持ちよく仕事ができます。

本書は「書類」「時間」「手帳」「パソコン」「思考」などの整理術を紹介。初めから順に読むのもよし、知りたいところを抜粋して読むのもお勧めです。

さあ、できることから実践してみましよう。(かかし)



困難な選択(上)  
困難な選択(下)

2015年 日本経済新聞社  
ヒラリー・ロダム・クリントン(著)

[1100-1]

「人権とは女性の権利であり女性の権利とは人権である」。ファーストレディ時代に北京で開かれた第四回世界女性会議で、いわれなき虐待を受ける女性たちの存在を語った著者。112か国を周り世界平和に貢献した国務長官時代の活動においても、女性の権利を守る意義を発信し続けた。彼女の頭上にあるガラスの天井はいまだ破れていないが、選挙戦では歴史に残るであろう多くのひびを入れることに成功した。手に汗握る政治展開とともに弱者に寄り添う意志を明確に表現した本書。気づけば拳を握りしめていた。(みっと)



緒方洪庵の妻

1988年 河出書房新社  
西岡まさ子(著)

[1100-3]

幕末の激動期に適塾を開塾した緒方洪庵。二千人ともいわれる塾生の中からは多くの若者が近代日本の礎となるべく国造りに奔走し、あるいは志半ばにして倒れていった。本書は9人のわが子を育てながら塾生を見守り続けた洪庵の妻「八重」の物語。若者たちの真摯な生き様や医学向上に取り組む熱意が行間から溢れ出ている。

また彼女の生涯を通して、冠婚葬祭などの当時の風習や社会情勢も鮮やかに見えてくる。著者は調査執筆に5年を費やしてこの物語を著した。発行から30年が経過した今、改めて読み新たな感動を覚えた。(みっと)